



たかさごしくらくまつえもんぎゅうたく
高砂市工楽松右衛門旧宅

～古民家で遊ぼ～

縁ノ和 en・no・wa

日時 7月26日(日) 13:00～18:00

8月23日(日) 13:00～18:00

9月26日(土) 16:00～21:00

9月は工楽邸
ライトアップ

場所 高砂市工楽松右衛門旧宅
(高砂市高砂町今津町 532)

見る・知る

北前船模型展示(弁財船)
高砂町昭和写真展

8/23(日) 13:00～18:00
オリジナル缶バッチづくり 200円
かたぬき 各100円
スーパーボールすくい

7/26(日) 13:00～18:00
常夜灯木工工作 300円
手裏剣的当て 100円 などなど

作って学ぶ

宝殿焼 手びねり陶芸
ワークショップ同時開催

9/26(土) 16:00～21:00
工楽邸ライトアップ
夜店 雑貨(フリーマーケット)
縁日遊び

心を満たす

食べ物や飲み物の販売も行います！

浴衣姿で古民家の縁日を楽しもう！

浴衣で来場の方に
ぼっくりらんラムネプレゼント！



←最新情報

※各日程で内容を変更する場合がございます

※駐車場には限りがありますので、なるべく自転車等でお越しください。

※可能な限りマスクの着用・入館時に備え付けの消毒液で手指の消毒をお願いいたします。

～お問い合わせ～ 高砂市工楽松右衛門旧宅

TEL 079-490-4790 FAX 079-441-8077



高砂市工楽松右衛門旧宅

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～

～ストーリー概要～

日本海や瀬戸内海沿岸には、山の風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小道が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に反映をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

高砂市の認定ストーリー構成文化財

帆布の製造方法を発明した
工楽松右衛門旧宅



江戸時代の町割りに町屋・社寺・
近代建築等が建ちならぶ。
北前船も寄港した港町



北前船が寄港した高砂港の
高砂神社にある常夜灯



北前船が寄港した
高砂港の物流になった堀川遺構



歴史が“まち”と“人”を結ぶ

縁日とは、神様と縁を結ぶ日「結縁(けちえん)の日」のことを言います。

高砂市工楽松右衛門旧宅が“まち”と“人”を結ぶ場所に。



日本の帆布製造の始祖として知られる初代工楽松右衛門は、高砂町東宮町に生まれました。

江戸時代に、海運業や港湾改修などをおこない、航海に革命的進歩をもたらした「松右衛門帆」の生みの親です。

丈夫な帆布を生みだした工楽松右衛門にまつわる資料などの展示もしています。

初代工楽松右衛門銅像(高砂神社)

日本遺産、

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

に平成30年度認定！

また、**兵庫県指定文化財(史跡)**にも平成31年3月に**指定**されています！